

第 47 回 『日本童謡賞』

一般社団法人日本童謡協会は、こどもの歌の振興を図るため制定した『日本童謡賞』の第 47 回贈呈者を下記の通り決めました。なお、賞の贈呈式は 2017 年 6 月 30 日（金）、東京ガーデンパレスにて午後 6 時より開催、終了後祝賀パーティーを行います。

日本童謡賞（賞状、盾、賞金 10 万円）

- ・該当なし

日本童謡賞・新人賞（賞状、盾）

- ・「おにいちゃんの紙飛行機」（銀の鈴社刊） 大楠 翠

日本童謡賞・特別賞（賞状、盾）

- ・とっくんこの会
- ・ことのみ児童合唱団
- ・NPO 杉並文化村

贈 呈 理 由

☆日本童謡賞・新人賞

- ・「おにいちゃんの紙飛行機」（銀の鈴社刊） 大楠 翠

詩作は平成 21 年からで、初めての詩集です。

表題にもなった「おにいちゃんの紙飛行機」は、おにいちゃんが折ってくれる紙飛行機と、自分の折った紙飛行機の違いに視点を当て、自分のより優れているおにいちゃんの紙飛行機は、自分の折った紙飛行機と、どのように違うのかにこだわっています。おにいちゃんの折ってくれた紙飛行機をほどいてその違いを確かめたいけど、「ほどいてみたら、おにいちゃんおこるかな」とその子供の気持ちを歌っています。「いけないの塊」では、かあさんは何でもいけないということへの反発をうたい、「親より先に死んではいけない」と言われて、すべての反発への思いがずっと消えたと、子供の思いが突っ込んで書かれています。

他にも「母さんの皺」や、「肩もんであげる」に、男の子らしい思いがが窺われ、大きく成長して下さることが望まれます。

（宮中雲子 記）

☆日本童謡賞・特別賞

- ・とっくんこの会

とっくんこの会は 2001 年（平成 13 年）創立、なんば・みちこ氏代表の下、岡山県を中心に地域童謡文化の普及振興に精力的に活動する団体である。

会員は広く全国に至り、会員数は現在 65 名となっている。

とっくんこの会の主たる活動は「童謡集 とっくんこ」の発行（年 3 回）及び童謡コンサートの開催である。

「童謡集 とっくんこ」は現在 49 号で、その内容は新作童謡詩を中心に新作童謡作品、詩評論、名作詩の鑑賞など多岐にわたり、極めて多彩で充実している。

とっくんこの会の長年にわたる精力的な活動とその業績を高く評価し、今後の一層の発展を期待して日本童謡賞・特別賞を贈呈いたします。

（甲賀一宏 記）

・ことのみ児童合唱団

ことのみ児童合唱団は、童謡・唱歌による日本語の美しさを表現したいと、井上美都氏指導の下、2008年に創立された児童合唱団である。合唱団の名称である「ことのみ」とは“言の実”をあらわしている。ことのみ児童合唱団は、童謡文化に多くの業績を残した川田正子氏が“全員ソリストの合唱団”であることを目指して1979年に結成した「森の木児童合唱団」を継承する合唱団である。(森の木児童合唱団は2007年に解散)

ことのみ児童合唱団は創立以来、ラジオ・テレビ番組の出演、各種の音楽教材のレコーディング、定期演奏会の開催や各種の「童謡コンサート」への出演等幅広い分野で精力的な活動を続けている。

ことのみ児童合唱団の極めて明瞭な日本語の発音とその歌唱表現は高く評価される。

日本童謡協会の「童謡祭」および「こどものコーラス展」には2013年より毎回出演している。

ことのみ児童合唱団の優れた業績を称え、合わせて日本童謡協会への多大な協力に謝意を表して、日本童謡賞・特別賞を贈賞致します。

(甲賀一宏 記)

・NPO 杉並文化村

東京都杉並区は広く一般に“文化区”と言われ、棟方志功、向田邦子、奥村士牛、松本清張等々多くの文化人を輩出している。

NPO杉並文化村は“杉並・文化ルネッサンス”を標榜する杉並文化フォーラムの開催を目指して、1991年に結成された非営利ボランティア団体(NPO)である。杉並文化フォーラムの内容は極めて多岐にわたっており現在第71回と成っている。

2011年3月の杉並文化フォーラムは“心のふるさと杉並「童謡・唱歌」まつり”と題されているが、これを第1回(2011年)として、“心のふるさと杉並「童謡・唱歌」まつり”はこれまでに第6回(2017年)と成っている。

第6回“心のふるさと杉並「童謡・唱歌」まつり”はメインテーマを“童謡誕生100年に向けて”として開催されたが、極めて内容の充実した音楽的に優れたコンサートであった。

NPO杉並文化村が取り組む“心のふるさと杉並「童謡・唱歌」まつり”は童謡文化の歴史に確かな足跡となるものであり高く評価される。

NPO杉並文化村の多大な業績を称賛し、あわせて今後の一層の発展を期待して、日本童謡賞・特別賞を贈呈致します。

(甲賀一宏 記)

日本童謡賞審査委員会

委員長 湯山 昭

委員 朝岡真木子 伊藤幹翁 織江りょう 甲賀一宏

こわせ・たまみ 佐藤雅子 早川史郎 宮中雲子 矢崎節夫

《受賞者略歴》

大楠 翠（おおくす みどり）

1965 年生まれ、東京都出身。

筑波大学第二学群日本語日本文化学類卒業

2009 年 木曜会に入会

2016 年「雲子の詩の部屋」に入会

「インターネット木曜手帖」「ポエムアンソロジー」「子どものための少年詩集」に詩を発表。

2016 年 11 月、第一詩集「おにいちゃんの紙飛行機」（銀の鈴社）出版

とっくんこの会

2001 年に童謡集「とっくんこ」を創刊。子どもも大人も楽しんで読める童謡誌を目指している。年間 3 回発行で、創刊時は会員 19 名。2 号から「とっくんこ」の名前が付き、会員も群馬から九州と全国に広がり、現在は 65 名。

「とっくんこ」の特色は、

- ①魅力のある表紙絵（作家・野村たかあき氏作でカラー版）
- ②作曲家会員数名が毎号作詩者の作品に曲を付けて発表（誌面の都合で全曲は掲載できないが、誌面に記録）。
- ③「子どものページ」を設けて掲載（幼児の場合は母親代筆可）。
- ④イベントの実施（朗読会・コンサート・詩画展等）。
- ⑤鑑賞のページ、評論のページ、会員活動メモ、記念写真のページ等あり。
- ⑥10・20・30・40・50 号の記念号は、詩とカラー絵の童謡絵本。50 号は 2017 年 8 月発行。節目として、二個所で「表紙絵と童謡」詩画展も実施。

ことのみ児童合唱団

ことのみ児童合唱団は、歌うことを通して、音楽・日本語の美しさに触れ、こどもたちの心を育てていくことを目指しています。

こどもらしい発声を大切に、童謡唱歌を中心にアカペラにも挑戦しています。一人一人がソロでも歌え、同様にハーモニーも大切に歌えるようにしています。

2008 年に結成し、童謡歌手・川田正子のピアニストとして定評のある井上美都氏指導・伴奏のもと、現在幼稚園生から大学生まで約 20 名所属しており、毎週日曜日に文京区を中心に活動をしています。

年一回の自主公演を行っている他、音楽教材や児童向け音楽 CD 等のレコーディングも行っています。

TV や舞台の依頼があれば出演することもあります。こどものうたの新曲発表にも積極的に参加しています。

NPO 杉並文化村

NPO 杉並文化村は、“杉並から文化の発信”をモットーに 1991 年 5 月に結成されました。

この小さな「杉並文化村」という組織は、地元を始めとする協賛企業の浄財と汗と知恵、また数名の事務局、更には杉並在住の著名な方々の心温かいご協力により運営されております非営利ボランティア団体です。

第 1 回目の公演は 1994 年 3 月に「チャリティー杉並文化フォーラム」として杉並在住の作家「野坂昭如」氏（故人）により講演を行い、以来 1 年に 2~3 回主として講演・音楽演奏を公演テーマに活動を行っております。

この間、名誉顧問に近衛通隆氏、初代村長に野坂昭如氏、二代目村長に小林亜星氏を迎え活発な活動を展開し今年 4 月の公演で 71 回目を迎えました。

特筆すべきは、杉並在住の小林亜星氏、伊藤幹翁氏の両氏、また永六輔氏（故人）のご提案とご協力により 2011 年 11 月に“心のふるさと杉並「童謡・唱歌」まつり”と題して第 1 回目の公演を行い、ご来場の皆さまに大変なご好評いただき 2017 年 4 月で連続 6 回目の公演を行っております。